

農村振興局長賞（被害防止部門（団体））

罾の見回りや再設置、捕獲個体の処理など実施隊の負担軽減等を目的に、農業者中心に応援隊が組織され、捕獲作業等の補完など被害対策の体制強化と被害防止を実現。

とのおし 遠野市ニホンジカ捕獲応援隊

主な取組

（隊長：太田代 雅敏）

岩手県遠野市

シカの被害増加を背景に、平成24年度に遠野市の実施隊が発足したものの、メンバーの高齢化や捕獲作業の負担増などにより捕獲活動の停滞が危惧。このため実施隊の負担軽減を目的に、農業者が主体となった「遠野市ニホンジカ捕獲応援隊(当初の隊員数：81名)」が発足。この応援隊は、わなの見回りや再設置、捕獲個体の処理など、狩猟免許を取得せずに取り組める捕獲作業の補完を担うほか、獣類の痕跡や被害等の情報を提供。

また、セミナーやパンフレット、市広報誌、高校生を対象とした講習会等において、応援隊の活動を周知することで、一般市民の「捕獲は難しい」との意識を払拭。これにより、実施隊も応援隊も増員（実施隊79名(H28)、応援隊125名(H28)）する中、応援隊のうち、自ら狩猟免許を取得し、実施隊で活躍する事例など被害対策の体制が強化され、捕獲頭数が増加。

【シカ有害捕獲数 平成24年度:332頭→29年度:1,264頭うちわな捕獲847頭】

【シカ農作物被害額 平成24年度：約1億5千万円→28年度：1億円】